

医療法人済恵会 広報誌 オアシス62号

須藤病院各病棟の紹介と今後の取り組みについて

**一般病棟 看護課長
佐藤 明美**



皆様には日頃より須藤病院にご理解いただきありがとうございます。まだまだ暑い日が続きますので、熱中症等お体には十分お気をつけ下さい。

今回はあらためて、当院の各部署をアピールしたいと思います。外来はH22年度新患者数3434名、救急車搬送440件で、外科、内科、整形外科、脳神経、循環器、乳腺甲状腺、眼科と多岐にわたっています。外来の特徴は外来がん化学療法、各種検診に対応しているところです。特に乳がん検診では、診断の専門医がおり、診断から治療がスムーズに行えます。また整形外科は市内で唯一手術に対応しています。

入院病棟は、一般、回復期リハビリ、療養病棟を有しています。療養病棟27床は、長期の医療処置、療養が必要な方が対象で、脳血管障害後の気管カニューレ挿入中、経口摂取できず24時間高カロリー輸液管理が必要、重度の褥瘡、酸素吸入中、がんの除痛が必要な方が現在入院しています。そのため多くの医療行為、看護が必要です。今年は慢性期の人工呼吸器装着患者も受け入れ、安心して療養生活が送れるよう、看護、介護力向上に日々努力をしています。

回復期リハビリ病棟20床は、脳梗塞、大腿骨頸部骨折、胸腰椎圧迫骨折後のリハビリを担っています。疾患から高齢者の入院が多いが、1日120分のリハビリと、在宅の生活に近づけるため着替え、食堂への移動、洗面等の行動をなるべく自分で行うことで、約85%の方が在宅に退院できています。今後は外出、外泊を通して家族との情報を密に行い、さらに入院から退院が円滑にできるように取り組んでいきます。

一般病棟48床は、H22年度入院患者1150名、平均在院日数14.5日でした。混合病棟で成人疾患の殆どの症例が入院している状況です。またH22年度の手術件数301件で消化器65件、整形外科134件、乳腺甲状腺60件、その他42件でした。このように急性期病棟で多種の手術患者に対応するほか、脳神経、循環器疾患、がんの終末期患者にも対応しています。また高齢化社会に伴い、入院患者も高齢者が大半を占めています。高齢者は環境の変化についていけないため、一時的なせん妄や認知症の進行、転倒や座り込み、点滴などの治療に必要な管を自分で抜いてしまうことがあります。そこで日中の生活リズムを整え、夜間入眠ができるように院内レクリエーションを開始しました。七夕飾り、かるた、ボール投げ、カレンダー作り、ぬりえを実施、患者さんも一日ベッドで過ごすより活気があるように感じます。まだ始めたばかりで、せん妄や認知症進行防止につながっているか結果は出ませんが、引き続き行い検証したいと思います。今後も日々努力してまいりますので、ご家族皆様のご理解とご協力をお願いします。

整形外来より 初診受付時間 変更のお知らせ。

H23年7月21日より整形外来の午前中の初診受付時間を午前11時までとさせて頂きます。ご了承ください。

老人保健施設めぐみ

施設の紹介と今後について



**副施設長
石川 泉**

いつも介護老人保健施設めぐみをご利用頂きまして、ありがとうございます。

恒例となっておりました、“めぐみ納涼祭”の時期がやってまいりました。毎年、たくさんのご家族様、近隣や関係者の皆様に楽しんで頂いております。今年は、須藤病院とめぐみのご案内をさせて戴きたいと思っておりますので、たくさんの皆様のご参加をお待ちしております。

めぐみは、大きく分けますと、通所リハビリテーション（デイケア）・短期入所療養介護（ショートステイ）・施設入所があり、家庭への復帰や生活が出来るよう看護・リハビリテーション・介護などを行っています。

めぐみでの一番のサービスはリハビリテーションです。通常、介護老人保健施設にはデイケア・施設入所の利用者各100名様に対して1人の理学療法士がいればよいのですが、めぐみにはデイ50名、入所80名の利用者様に対して、理学療法士3名・作業療法士1名・言語聴覚士1名の計5名でリハビリを提供しており、短期集中リハや3職種がいることで多方面からのアプローチを行っています。

デイケアは今年の5月から定員を50名に増やしました。増員前は121名の利用者が1日30~40名でしたが、現在は138名で32~47名の利用があります。

施設入所は昨年3月に増床後は、2階一般棟は68名の利用者様が平均41~43名入所されています。平均介護度3.1、平均年齢82.4才、平均で男性9名・女性30名の入所者様が生活しています。

3階認知専門棟は45名の利用者様が平均35~37名入所されています。平均介護度3.5、平均年齢86.7才、平均で男性9名・女性26名の入所者様が生活しています。

昨年から各階で、レクリエーションに力を入れています。レクリエーション委員が手作りした【ストラックアウト・玉入れ】はとても人気があります。慰問の行事も以前は、1階のフロアに全員が集まっていた為とても窮屈でしたが、各階ごとに慰問の方達を招くようにしたところ、とてもゆったりと観ることができました。さらに7月には日曜日に慰問して頂くこともできました。

今後も利用者様の日常生活動作の向上が図れるようにリハビリテーションを提供し、さらに楽しく過ごしていただけるようにレクリエーションの充実を図ります。そして、めぐみでの生活が安心して過ごせるように、職員は笑顔で優しい対応を約束します。



各フロア毎に慰問をお願いし、ゆったりと鑑賞していただいております。



みなさまに満足いただけるようなレクリエーションを実施しております。



みなさま積極的にリハビリテーションに励んでいます。